

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	中学校給食導入事業			事業番号	10-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部学校教育担当	石渡 誠一	学校教育課	守屋 康弘	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	5	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備	
予算事業名	中学校給食事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	
関連法令等	学校給食法				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	中学校給食は生徒の食育指導の機会の1つであるとともに、近年の共働き世帯の増加や子どもの貧困対策等の社会背景によってその重要性が一層高まっている。				
目的 (何をどうしたいのか)	中学校における給食の導入を計画的に進め、栄養バランスのとれた望ましい食生活を促すなど、食育指導の充実を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市内公立中学校生徒				
事業内容 (手段、手法など)	中学校における栄養バランスのとれた給食の導入を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	中学校給食の導入	試行準備	試行	試行、検証	
目 標	【指標名】	年度			
		【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	中学校給食の導入に向けた取組状況	方針決定 (平成29年度)	試行準備	試行	試行、検証



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	・中学校1校における給食試行に向け、調理業者の選定、注文管理システムの構築をするとともに、試行校の配膳室を整備し、令和2年1月(3学期)から試行実施します。 ・試行実施後、アンケート等により課題を整理し、他3校の実施に向け調整を図ります。			
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	民間調理業者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	中学校給食の導入	試行準備	試行	
実施した取組の内容	調理業者の選定、予約管理システムの構築を進めるとともに、中沢中学校の配膳室を整備するとともに他3校の配膳室設計業務に着手しました。令和2年1月から中沢中学校で選択制デリバリー給食(加熱方式)の試行開始し、デリバリー給食で神奈川県内初となる学校の配膳室でおかずを再加熱することで温かな給食の提供を実現しました。			
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
	中学校給食の導入に向けた取組状況	方針決定 (平成29年度)	平成30年度 試行準備	令和元年度 試行

	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
		千円	円	千円	円	千円	円	千円	円	千円	円		
コスト	事業費合計(a)	386	千円	61,832	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	37,700	千円	0	千円	0	千円	
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	386	千円	24,132	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
国県支出金の内容													
その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ○ 無		前回の改定時期									
	その他												
人件費	正規職員	0.627	人	5,336	千円	2.45	人	21,315	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計(b)	0.627	人	5,336	千円	2.45	人	21,315	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)		5,722	千円	83,147	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	中学校給食喫食見込み対象者数		単位	中学校給食喫食見込み対象者数		単位	単位				
		対象数	2600	人	2,600	人							
	総事業費／対象数	2,201	円	31,980	円								

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	調理業者の選定、予約管理システムの構築を進めるとともに、中沢中学校の配膳室を整備するとともに他3校の配膳室設計業務に着手しました。中沢中学校保護者向けの説明会や生徒、保護者等を対象とした試食会を実施し、関係者の理解のもと令和2年1月から試行開始しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	デリバリー方式の給食は他市町村でも導入実績があるが、伊勢原市が導入した選択制のデリバリー給食加熱方式は調理場から学校へ配送後に配膳室で再加熱し、温かい給食を提供するため全国的にも数少ない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	試行実施後に行ったアンケートにおいて味、量、温度、献立についての質問には、7割近くの生徒に好評を得ることができました。この結果は、神奈川県内初であるデリバリー方式のおかずを、学校の配膳室で再加熱する方法を導入し、温かな給食を提供できたことによるものと考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	給食は食の指導の実践の場であり、重要な教育活動の場であることを踏まえ、安全を第一に栄養バランスを考慮し、生徒にとって魅力のある中学校給食となるよう努めた結果、9割以上の生徒が中学校給食の利用に必要な利用登録をし、そのうち喫食率として65%以上の生徒が給食を利用しました。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	試行開始後の配膳・下膳や、予約管理システムの利用等が慣れ始め、軌道に乗りかけた矢先に、新型コロナウイルスによる学校の臨時休業とともに給食が中止となった。試行を行えた期間よりも給食中止期間が上回り、再開に当たっては1からのスタートになる可能性が高い。
令和2年度の取組方針		令和元年度に行う詳細設計業務に基づき、令和2年度の夏季休業期間を利用し他3校の配膳室改修工事を実施し、配膳室の整備を完了させ、保護者向け説明会及び生徒・保護者向け試食会を開催するとともに、給食予約管理システムへの申請者情報の入力等、令和3年4月の全校実施を目指し準備を進めます。		
所管部長による総評		令和2年度からの中沢中学校の試行実施に向け、調理業者の選定、給食予約管理システムの構築、配膳室整備等を進めるとともに説明会や試食会を開催し、導入に向けて着実な取組をすすめる事ができました。試行実施後のアンケート結果等を踏まえ、改善を重ねていくながら全校実施に向けた準備を進めていくことが必要です。		